

## 第 23 回 ISOE 運営委員会議事概要

I. 日 時：2013 年 11 月 18 日（月）～22 日（金）

II. 場 所：OECD / NEA（フランス）

III. 出席者：

〔ISOE 幹部会〕

W. Harris（議長、Excelon 米国）、T. W. Hwang（次期議長、KHNP 韓国）、Salah. Djeflal（副議長、CNSC カナダ）、B. Okyar（OECD / NEA）、J. Ma（IAEA）

〔ISOE 技術センター〕

C. SCHIEBER、L. D'ascenzo（欧州技術センター（ETC）、CEPN）、D. W. Miller（北米技術センター（NATC）、U of Illinois）、J. Ma（IAEA 技術センター；再掲）、鈴木（アジア技術センター（ATC）、JNES）

〔ISOE 加盟国代表〕

K. Byeong-Soo（KINS、韓国）、S. G. Jahn（ENSI、スイス）他 11 カ国から約 20 名

IV. 議事概要

### WGDA 会合

運営委員会に先立ち、ISOE データベースに関する議論を行った。決定事項は運営委員会にて公表された。

- ・ CANDU 炉にも G 表(定検期間の線量率測定情報)を作成することとした。
- ・ 廃炉措置の調査票のカテゴリーが不十分なので、議論を継続していくこととした。
- ・ 水化学及びソース・ターム管理に関する報告書（EGWC）のレビューについて、12 月までにフィードバックすることとした。

### 第 23 回 ISOE 運営委員会

#### 1. 開会挨拶

議長からアジア技術センター（ATC）の水町センター長の訃報があり、参加者で黙祷した。ATC からは御礼を述べた。続けて OECD/NEA の下村次長から開会の挨拶があり、OECD/NEA が公表した福島事故に関する報告書の紹介があった。

#### 2. 国別報告

14 カ国の出席者から報告があった。日本から電力代表及び規制当局が欠席の為、ATC が代理として日本の被ばく状況を報告した。

#### 3. ISOE 規約

規約添付 3 の各国の代表人数は、規約に基づき事務局の方でレビューすることとした。

また、規約の期限が切れた際、メンバーに参加確認の同意書を求めていたが、次回の期日以降は自動更新とすることにした。よって、退会の意志を示さない限り、ISOEのメンバーであり続けることとなる。

#### 4. 2013-14の予算案

- ・ ETC が欧州加盟メンバーに対して、費用分担の新システムを紹介、運営委員会後も引き続き議論することとなった。
- ・ ATC は 2014 年に移管の予定であり、移管先が未定の為、来年度の予算の公表は不可能であるとの説明をし、事務局の了解を得た。

#### 5. ISOE 技術センターの評価指標

今回、初めて技術センターの評価指標 (PI) が導入された。評価方法は各技術センターが、2013 年の活動成果に関し、自己評価の結果 (優、良、可) を報告した。ATC は、韓国同意の下、自己評価結果は「優」とした。

#### 6. 2014 年 ISOE 活動計画

- ・ 北米技術センター (NATC) は IAEA の協力の下、アルゼンチンに ISOE 参加を呼びかけている。
- ・ ISOE アジア技術センターの移管について、電事連及び NRA と協議中なので、今回の運営委員会では詳細な説明が出来ず、韓国及びその他の技術センター (北米、欧州、IAEA) も移管先について懸念している。
- ・ 規約の更新による日本の規制当局 (NRA) の加盟手続について、速やかに届け出るよう事務局より求められた。

#### 7. 専門家グループからの報告

「水化学及びソース・ターム管理に関する報告書 (EGWC)」及び「シビアアクシデント管理における職業放射線防護 (EG-SAM)」中間報告書が承認された。

#### 8. 今後の主な会合、シンポジウムの予定

- ・ 2014 年 1 月 12 日～15 日 : ISOE 北米シンポジウム (米国)
- ・ 2014 年 4 月 7 日～11 日 : ISOE 欧州シンポジウム、EG-SAM、ビューロー会合 (スイス)
- ・ 2014 年 6 月 17 日、18 日 : EG-SAM 国際ワークショップ (米国)
- ・ 2014 年 8 月末 : アジア ALARA シンポジウム (韓国)
- ・ 2014 年 11 月 3 日～7 日 : WGDA、ビューロー、ISOE 運営委員会 (OECD/NEA)
- ・ 2014 年 12 月 1 日～5 日 : IAEA 第 2 回職業被ばくに関する国際会議 (IAEA)

## 9. 幹部交代

KHNP（韓国）の Dr. Tae-Won Hwang が次期議長となり、ENSI（スイス）の Dr. Swen-Gunnar Jahn が副議長となった。韓国からの議長選出は今回初である。

### 第4回 EG-SAM 会合

運営委員会の後に第4回専門家会合が開催され、来年6月予定のシビアアクシデント管理における職業放射線防護（EG-SAM）の国際ワークショップについて詳細を決定した。

- ・ワークショップは NEI の会議室（3 部屋）で開催し、議論をしやすい為、80 名に募集人数を絞る。2 日間開催し、同日とも午前は講義形式、午後はディスカッション形式とする。
- ・NEI から東電のワシントン事務所にコンタクトを取り、発表依頼をするとの申し出があった。
- ・EG-SAM 国際ワークショップの後、EG-SAM 会合を開催し、最終報告書を完成させる。
- ・来年1月初旬にテレカンファレンスを予定。

以 上